

# トルコ共和国地震被害に対する 国際消防救助隊の派遣について（第4報）

令和5年2月12日（日）8:00 現在  
消 防 庁 参 事 官 室  
※下線部は前回からの変更箇所

## 1 地震の概要

- (1) 発生日時 令和5年2月6日（月） 10時17分頃  
（現地時間2月6日（月）4時17分頃 ※日本との時差：－6時間）
- (2) 震源地 Gaziantep ili Nurdağı（ガズィアンテプ県ヌルダウ）  
※首都アンカラの南東約600kmに位置（北緯37.2度、東経37.0度）
- (3) 震源の深さ 17.9 km
- (4) 地震の規模 マグニチュード7.8

## 2 被害状況

首都アンカラから約600km離れた都市ヌルダウを震源とし、その周辺の複数の地域で被害が発生。死者・負傷者は多数に上る模様。今後、被害状況が明らかになるにつれ、更に被害の拡大が予想される。

## 3 派遣期間及び派遣先

令和5年2月6日（月）～ トルコ共和国

## 4 派遣の状況

- (1) 先遣隊（第1陣）  
2月6日、22時50分羽田発のイスタンブール行で、先遣隊として、消防庁1名及び東京消防庁4名を派遣  
※先遣隊18名（外務省1名、消防5名、警察3名、海上保安庁3名、医療班2名、構造評価1名、JICA3名）
- (2) 第2陣  
2月7日、22時50分羽田発イスタンブール行で、東京消防庁2名、福岡市消防局3名、広島市消防局3名、茨城西南広域消防本部1名、徳島市消防局1名、上越地域消防事務組合1名、宮崎市消防局1名を派遣

※先遣隊（18名）と第2陣（56名）を合わせ、計 74名を派遣  
（消防17名・警察23名（救助16名、救助犬ハンドラー5名、通信隊員2名）・海上保安庁14名・外務省1名・JICA 12名、医療関係者5名、構造評価専門家2名）

5 派遣隊の現地活動状況（以下、トルコ時刻） ※日本との時差 －6時間

○2月7日

（先遣隊）

- 7時03分 イスタンブール空港に到着。
- 9時40分 イスタンブール発カイセリ行に搭乗。
- 12時00分 カイセリに到着。
- 12時15分 トルコ災害緊急事態対策庁との協議の結果、活動拠点をカフラマンマラシュと決定。
- 15時00分 陸路でカフラマンマラシュに移動。
- 20時30分 カフラマンマラシュに到着。カフラマンマラシュ市内の倒壊した9階建てアパートを捜索救助現場と特定。
- 21時40分 現場到着。捜索救助活動実施
- 23時43分～ 2名の要救助者を発見し、救助。（2名とも死亡確認）

○2月8日

（先遣隊）

- 8時00分頃 昨日から続けている倒壊建物現場での捜索救助活動を終了し、市内状況を確認し、生存者がいる可能性のある建物を確認。
- 10時00分～ 同現場で捜索救助活動開始。

（第2陣）

- 7時43分 イスタンブール空港に到着。
- 10時45分 イスタンブール発カイセリ行に搭乗（53名）。2名は、資機材輸送の対応のため、別行動。
- 12時00分 カイセリに到着。
- 13時27分 陸路でカフラマンマラシュへ移動。
- 20時00分頃 カフラマンマラシュに到着。
- 20時10分～ 先遣隊活動現場と近接する現場で捜索救助活動開始。

○2月9日

終日 カフラマンマラシュでの活動を継続。

○2月10日

終日 カフラマンマラシュでの活動を継続。

○2月11日

終日 カフラマンマラシュでの活動を継続。

- 14時20分頃 隣接する現場で活動していたトルコチームが女兒を救出。JDR・救助チーム医療班が女兒を診察し、無事を確認。（発災後130時間ぶりの生存救助）

(JDR・救助チームの要救助者救出情報) ※2月7日～

- ・ 6名の要救助者を救出。(6名とも死亡確認)
- ・ 生存者1名の診察を実施。(医療班)

## 6 消防庁の対応

令和5年2月6日 18時50分 参事官を長とする消防庁災害対策室を設置(第1次応急体制)

問い合わせ先

消防庁国民保護・防災部参事官付  
廣田、長谷、新井  
TEL 03-5253-7507 (直通)